

明道中学校だより

自啓・互敬・明朗

10月号

平成30年9月27日

「Reborn ～一体感をつくりだせ～」

校長 北川 裕之

あれほど暑かった夏も終わり、過ごしやすい季節となりました。今年の夏は、災害レベルとまで言われる猛暑、酷暑の日々が続き、グラウンドや体育館で運動する部活動にとっては、大量のスポーツドリンクや冷却剤などご家庭の協力をいただきながら、熱中症対策が欠かせない日々が続きました。

また、9月1日の体育祭では、実施の有無を判断する際、延期した場合に熱中症のリスクが極めて高い日となること、更に後には台風21号が接近していることから、大変悩みながらも、予定通り実施する判断をしました。一時雨には遭いましたが、涼しい中で体育祭を実施でき良かったと思っています。今年は、大雪、大雨、猛暑、台風とさまざまな異常気象が続いていますが、今後も細心の注意を払い、生徒の安全確保に努める学校運営を行ってまいります。

さて、今年の学校祭のテーマは、「Reborn ～一体感をつくりだせ～」で、生徒たちが一体となって準備し、皆で楽しむ充実した学校祭となりました。

応援では3年生を中心としたリーダーが夏休み中から企画し、休みが明けてからは短期間で集中した練習が色毎に進められ、グラウンドや体育館で大きな声が響いていました。当日は元気の応援がグラウンドいっぱいに響き渡りました。応援も含めすべての競技に勝ち負けはありますが、クラスや色が団結してこれまでの練習の成果を発揮することができたことでの達成感を誰もが味わうことができました。

また、プログラムの変更や時間を短縮するために招集場所へ集まらず直接競技場所に集合するなどの変更に対しても、臨機応変にすばらしい対応力をみせ、少々の雨など意にも介さず元気あふれる生徒たちを見て、とても頼もしく思えました。全ての種目を実施することができ、大いに盛り上がる体育祭となりました。

翌日の文化祭では、演劇部、合唱部、吹奏楽部をはじめ、学年合唱、委員会発表などのステージ発表や教科係や委員会の展示・体験、PTA教養委員会の国体・障害者スポーツ大会に関する展示体験コーナーなど、盛りだくさんの内容のすばらしい文化祭となりました。演劇部は、2年前に部員募集を停止しており、残念ではありますが文化祭を最後に活動を終わることになっていました。そうした中、「最終公演～ラストステージ～」の演題で、オリジナル脚本による有終の美を飾るすばらしい演劇を披露しました。

明道中生の輝きを地域に発信し、より一層「地域に愛される学校」となるために、生徒会執行部が校区内のいたる所で学校祭の案内を載せた「明道新聞」を配布したり、FBCテレビに出演して地域の方に学校祭を宣伝したりするなど、広報活動を行いました。さらに、体育祭を見に来られた方に体育祭の応援合戦の審査投票をしていただくなど、例年になく工夫を生徒たちが考えてくれました。また、春山公民館のご協力により、ご高齢の方にも団体で文化祭を観覧していただきました。今後も、地域との結びつきを大切にしたい学校を目指してまいります。

最後になりましたが、学校祭の両日、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき、子どもたちに温かい励ましをいただきましたことに感謝申し上げます。また、PTAの皆様には両日の受付、会場巡回、駐車場の誘導などにご尽力いただきました。改めて感謝申し上げます。

10月の行事予定

5日	英検	17日	2学期始業式、認証式、委員会・係会
7日	全国障害者スポーツ大会車いすバスケットボール観戦	19日～	地区秋季新人大会（～21日）
11日	終業式、激励会	22日	放課後活動定休日
12日～	秋季休業（～16日）	26日～	県秋季新人大会（～28日）
		31日	リーダー研修会

体育祭 9月1日(土)

赤、青、黄の3色に分かれて、競技に応援に力を発揮しました。今年は、生徒会のアイディアで応援合戦の採点は地域の皆様にも投票形式で加わっていただきました。熱く競い合う一方、エールの交換が行われるなど、学校全体が1つになりました。



文化祭 9月2日(日)

文化部や委員・係会の展示や発表、各学年の合唱のほか、生徒個人が特技発表をする場が設けられました。今年で、その歴史に幕をおろす演劇部にとってはラストステージとなりました。また、PTAの展示や発表なども行われました。

今年も大変充実した文化祭になりました。準備そのほかで、保護者の方や地域の方には、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

